



2022年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月8日

上場会社名 株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン

上場取引所 東

コード番号 6093 URL <http://www.ea-j.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 成宮 正一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部担当 執行役員 (氏名) 太田 昌景

TEL 03-6703-0500

四半期報告書提出予定日 2021年10月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	1,496	5.3	228	20.4	232	30.8	152	31.2
2021年2月期第2四半期	1,579	0.1	286	46.4	336	74.4	221	71.3

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 145百万円 (43.4%) 2021年2月期第2四半期 256百万円 (97.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	3.52	
2021年2月期第2四半期	5.28	5.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	3,660	3,129	85.5	72.10
2021年2月期	3,820	3,155	82.6	72.80

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 3,129百万円 2021年2月期 3,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		4.00	4.00
2022年2月期		0.00			
2022年2月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,517	14.5	500	1.6	502	8.5	336	7.6	7.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期2Q	45,704,269 株	2021年2月期	45,630,483 株
期末自己株式数	2022年2月期2Q	2,295,035 株	2021年2月期	2,293,335 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期2Q	43,360,843 株	2021年2月期2Q	42,044,676 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って緊急事態宣言の対象地域が拡大し、外出自粛や店舗の営業時間短縮などの影響により、経済活動が抑制されました。先行きの景気動向についても、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって持ち直しの動きが続くことが期待されるものの、依然として感染拡大による下振れリスクの高まりに注意する必要があります。

一方、当社を取り巻く環境は、テレワークの拡大による住宅ニーズの高まりや個人のインターネットバンキングの利用促進など、新しい生活様式に対応した需要が拡大しております。不動産市場においても、首都圏の中古マンション成約単価は上昇傾向が続くほか、中古戸建住宅の成約件数も増加傾向にあり活況が続いています。また、キャッシュレス化の急速な進展、ビッグデータ活用によるデジタル革新など社会環境が大きく変化し、金融機関をはじめとする様々な業界で、人を介さない非対面チャネルでの対応が多く取られて技術的に可能となっております。

こうしたなか、当第2四半期連結累計期間においては、不動産事業者向け非対面決済サービス「H'OURS（アワーズ）」の受注件数が増加いたしました。一方、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う消費マインドの落ち込みや営業活動の制約による影響等があったことで、不動産オークション事業が引き続き低調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は1,496,109千円（前年同期比5.3%減）、営業利益は228,402千円（前年同期比20.4%減）、経常利益は232,837千円（前年同期比30.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は152,648千円（前年同期比31.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(エスクローサービス事業)

エスクローサービス事業においては、士業専門家、金融機関、不動産事業者に対し、不動産取引の効率性、利便性、安全性の向上に寄与する各種支援システム等により、業務の効率化を支援しております。また連結子会社の株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン信託における信託サービス、相続手続き代行サービスでは決済の安全確保、財産保全等のニーズに対応しております。

当第2四半期連結累計期間においては、不動産事業者向けの非対面決済サービス「H'OURS（アワーズ）」が、前年と比較して利用件数が増加いたしました。一方、金融機関向けにおいては、ネット系銀行からの受注は堅調に推移したものの、全体の受注件数は伸び悩みました。

以上の結果、セグメント売上高は461,273千円（前年同期比6.8%減）、セグメント利益は343,150千円（前年同期比11.8%減）となりました。

(BPO事業)

BPO事業においては、金融機関における住宅ローン融資に係る業務受託をはじめ、事務合理化等、コスト節減ニーズに応じたサービスを提供しております。また、連結子会社の株式会社中央グループでは、建築・開発設計サービスや不動産鑑定サービス、専門家への業務支援や建設事業者向け各種コンサルティングサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、金融機関向けの業務受託サービス等が増加したほか、連結子会社の株式会社中央グループにおける建設事業者向けサービスが堅調に推移いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は959,301千円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益は222,696千円（前年同期比16.6%増）となりました。

(不動産オークション事業)

不動産オークション事業においては、連結子会社の株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン信託にて、主に税理士等の専門家からの相談に応じ、不動産の調査から取引決済まで安全性の高い不動産取引の機会の場を提供しております。これにより売買後のトラブルや紛争を未然に回避することができるほか、取引価格については入札方式を採用することによって透明性の高い価格形成が可能となり、不動産取引の効率性、利便性、安全性の向上に寄与しております。

当第2四半期連結累計期間においても、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により、営業活動が制限されたことで案件進捗に遅れが生じ、オークションによる決済は低調な推移となりました。

以上の結果、セグメント売上高は75,534千円（前年同期比47.2%減）、セグメント損失は2,414千円（前年同期は23,830千円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,040,173千円となり、前連結会計年度末と比較して264,526千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が235,728千円減少したことによるものであります。固定資産は619,898千円となり、前連結会計年度末と比較して103,959千円の増加となりました。これは主に、ソフトウェア開発等により無形固定資産が118,879千円増加したことによるものであります。

以上の結果、総資産は3,660,072千円となり、前連結会計年度末と比較して160,566千円の減少となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は396,881千円となり、前連結会計年度末と比較して138,358千円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が56,798千円減少したこと等によるものであります。固定負債は133,357千円となり、前連結会計年度末と比較して2,969千円の増加となりました。

以上の結果、負債合計は530,238千円となり、前連結会計年度末と比較して135,388千円の減少となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,129,833千円となり、前連結会計年度末と比較して25,177千円の減少となりました。これは主に、剰余金の配当が173,348千円あったことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は85.5%（前連結会計年度末は82.6%）となりました。

③キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は2,390,853千円となり、前第2四半期連結会計期間末残高と比較して47,256千円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローの収入は85,312千円（前年同期は267,136千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益232,837千円があった一方で、法人税等の支払額125,849千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローの支出は142,623千円（前年同期は67,470千円の収入）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出143,148千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローの支出は178,416千円（前年同期は71,244千円の収入）となりました。これは主に、配当金の支払額173,039千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の通期連結業績予想につきましては、2021年4月9日に公表いたしました業績予想数値に変更はありません。なお、当社の連結業績予想における新型コロナウイルス感染症に関連する影響は限定的と考えておりますが、今後公表すべき事実が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,826,581	2,590,853
売掛金	395,439	344,994
その他	84,352	105,410
貸倒引当金	△1,673	△1,085
流動資産合計	3,304,699	3,040,173
固定資産		
有形固定資産	84,725	80,444
無形固定資産	149,925	268,804
投資その他の資産	281,288	270,649
固定資産合計	515,939	619,898
資産合計	3,820,638	3,660,072
負債の部		
流動負債		
買掛金	95,136	77,736
未払法人税等	138,226	81,427
賞与引当金	49,998	49,145
その他	251,877	188,572
流動負債合計	535,239	396,881
固定負債		
資産除去債務	34,665	34,665
退職給付に係る負債	36,046	-
長期未払金	-	36,046
その他	59,677	62,646
固定負債合計	130,388	133,357
負債合計	665,627	530,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	647,065	647,065
資本剰余金	761,905	764,955
利益剰余金	2,267,736	2,247,036
自己株式	△548,271	△548,271
株主資本合計	3,128,436	3,110,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,574	19,046
その他の包括利益累計額合計	26,574	19,046
純資産合計	3,155,011	3,129,833
負債純資産合計	3,820,638	3,660,072

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	1,579,656	1,496,109
売上原価	821,029	779,375
売上総利益	758,626	716,734
販売費及び一般管理費	471,715	488,331
営業利益	286,911	228,402
営業外収益		
受取利息	18	18
受取賃貸料	7,920	8,000
投資事業組合運用益	49,807	374
その他	1,158	2,972
営業外収益合計	58,903	11,365
営業外費用		
支払利息	84	59
賃貸費用	6,662	6,827
株式交付費	1,698	—
その他	673	42
営業外費用合計	9,120	6,930
経常利益	336,694	232,837
税金等調整前四半期純利益	336,694	232,837
法人税、住民税及び事業税	108,647	78,637
法人税等調整額	6,261	1,551
法人税等合計	114,908	80,188
四半期純利益	221,785	152,648
親会社株主に帰属する四半期純利益	221,785	152,648

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	221,785	152,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,436	△7,527
その他の包括利益合計	34,436	△7,527
四半期包括利益	256,222	145,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256,222	145,121
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	336,694	232,837
減価償却費	32,605	34,288
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△229	△588
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	703	△36,046
受取利息	△18	△18
支払利息	84	59
株式報酬費用	4,523	9,949
売上債権の増減額(△は増加)	39,784	50,444
投資事業組合運用損益(△は益)	△49,807	△374
たな卸資産の増減額(△は増加)	25,748	385
仕入債務の増減額(△は減少)	△24,506	△17,400
前払費用の増減額(△は増加)	△6,537	△44,782
未収入金の増減額(△は増加)	1,613	6,428
未払金の増減額(△は減少)	△18,456	28,820
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,570	△58,076
その他	△321	5,281
小計	340,311	211,207
利息の受取額	15	13
利息の支払額	△84	△59
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△73,105	△125,849
営業活動によるキャッシュ・フロー	267,136	85,312
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△348
無形固定資産の取得による支出	△38,483	△143,148
定期預金の預入による支出	△600	—
信託預金の解約による収入	100,000	—
投資事業組合からの分配による収入	5,483	4,600
その他	1,069	△3,727
投資活動によるキャッシュ・フロー	67,470	△142,623
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△194,682	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	418,770	—
配当金の支払額	△144,348	△173,039
リース債務の返済による支出	△6,876	△5,302
その他	△1,618	△75
財務活動によるキャッシュ・フロー	71,244	△178,416
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	405,850	△235,728
現金及び現金同等物の期首残高	2,032,259	2,626,581
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,438,110	2,390,853

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エスクロー サービス	BPO	不動産オーク ション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	494,775	941,820	143,059	1,579,656	—	1,579,656
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	494,775	941,820	143,059	1,579,656	—	1,579,656
セグメント利益	388,950	191,065	23,830	603,846	△316,935	286,911

(注) 1. セグメント利益の調整額△316,935千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門で生じた販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年3月1日 至2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エスクロー サービス	BPO	不動産オーク ション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	461,273	959,301	75,534	1,496,109	—	1,496,109
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	461,273	959,301	75,534	1,496,109	—	1,496,109
セグメント利益又は損 失(△)	343,150	222,696	△2,414	563,431	△335,028	228,402

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△335,028千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門で生じた販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。